

当院において令和2年10月27日に医療事故事案が発生し、患者さまが逝去されました。病院運営の透明性を高めること及び他の医療機関の安全管理にとって有用となることを目的とし、この事案を公表します。なお、患者さま御遺族と和解が成立し事故の公表に同意を得たものです。

## 1 患者

60歳代男性

## 2 事故概要

令和2年9月に左上葉肺癌の診断をされた患者さまについて、同年10月27日にロボット支援下による肺葉切除手術を行った際、鉗子で下行大動脈を損傷し危機的な大出血を来いたしました。開胸による止血を試みるとともに他院心臓血管外科の協力も得て止血を完了することができましたが、大量出血の際、脳の不可逆的な虚血性変化が生じ、手術後17日後に逝去されました。

亡くなられた患者さまへ心よりお悔やみ申し上げますとともに、患者さま並びに御遺族へ深くお詫び申し上げます。医療事故再発防止策として術者を含めた手術チームの再トレーニングやシミュレーションを行い、また、院内および他院との連携を含めた緊急時対応などの体制強化を行いました。今回の事案から学んだことを今後に生かし、病院全体で医療安全の確保に努めてまいりたいと考えております。

病院長